

## 令和7年度 佐賀県特別支援教育研究会 第2回理事研修会・第5回幹事研修会

令和8年1月9日（金）15:00～16:30  
場所：佐賀県立総合福祉センター  
司会：田澤（うれしの特別支援学校）  
記録：前田（南波多郷学館）  
中島（武雄北中学校）

1 会長挨拶 佐賀県特別支援教育研究会会長 江頭 満江

### 2 議 題

（1）令和7年度業務中間報告（3ページ）

（2）令和7年度会計中間報告（4, 5ページ）

- ①一般会計
- ②特別会計

（3）令和8年度業務計画（案）

①運営委員会の定期開催（2回）～ 理事・幹事研修会に向けて

会長 …… 杵武地区 校長（R8杵島）

副会長 …… 中原特別支援学校 校長

副会長 …… 三神地区 校長

事務局 …… 中原特別支援学校

②業務計画案（6ページ）

・総会及び研修会について（7ページ）

・夏季研究大会について… 九難言大会に兼ねて実施する（申し合わせ事項1（1）④より）  
夏季研究大会の費用分を補助する（申し合わせ事項6より）

・研究調査について…夏季研究大会を実施しない年度に実施する（申し合わせ事項1（6）より）  
R8年度は実施なし

（4）令和8年度予算案について（一般会計及び特別会計）（8, 9ページ）

（5）令和8～11年度県特研 研究テーマについて

・令和8年度より県特研のテーマが新しくなります。

第2回理事研修会・第5回幹事研修会（1月9日）仮決定

令和8年度総会 研究テーマ決定

令和4～7年までの研究テーマ

「共生社会の中で自分らしく主体的に活動する子どもの育成を目指して」



令和8～11年度県特研研究テーマ（案）

「共生社会の中で多様な教育的ニーズのある子どもの可能性を引き出す指導・支援をめざして」

（6）令和8年度以降の担当地区等について

・事業・提案輪番（10～13ページ）

・申し合わせ事項（14～16ページ）

・幹事役割分担（17ページ）

(7) 表彰候補者の選定について

- ①知的障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会における感謝状 (18, 19ページ)
- ・前年度に割り当て地区、学校で選出する。(計画は下表のとおり)
  - ・5名選出する。2地区の小中学校と3校の特別支援学校より1名ずつを推薦する。
  - ・

年 度	推 薦 地 区 お よ び 特 別 支 援 学 校	
令和7年度	伊西地区、杵武地区	大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援
令和8年度	唐津地区 鹿嬉藤地区	附属特別支援 伊万里特別支援 中原特別支援
令和9年度	三神地区、佐城地区	金立特別支援、大和特別支援、唐津特別支援

※令和8年度表彰決定者 (敬称略)

第67回知的障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会での感謝状贈呈 (5名推薦)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1	唐津地区	11月29日(日) 佐賀地区(佐賀市内)で開催予定
2	鹿嬉藤地区	
3	附属特別支援学校	
4	伊万里特別支援学校	
5	中原特別支援学校	

※特別支援教育通算10年以上の先生

※各地区・各学校より推薦書を2月末までに事務局に提出

- ②全特連功労賞 (1名) … 前年度に三役、事務局で選出する。

※令和8年度表彰候補者 (敬称略)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1		☆長年の特別支援教育に対する功労、佐賀県特別支援教育研究会研究大会等の運営に貢献。

(8) 特別支援学校の変動について(20ページ)

- ・R8.4 佐賀県立鳥栖特別支援学校 (知的障害) → 入会
- ・R8.5 佐賀県立金立特別支援学校 (知的障害) → 現状のまま (事務局等の輪番に入れない)
- ・R8.4 佐賀県立中原特別支援学校 → 事務局等の輪番に入れない  
→金立特別支援学校…九州地区肢体不自由教育研究協議会、全国肢体不自由教育研究協議会  
中原特別支援学校…九州地区病弱虚弱教育連盟、全国病弱虚弱教育連盟

4 連絡

- (1) 各学校負担金の入金様式について (23, 24ページ)
- (2) 佐賀県特別支援学校及び特別支援学級設置校一覧について
  - ・R8年度より、通級(県立)を記載する
- (3) 令和8年度の理事・幹事名簿の提出について (各支部、各研究会) (25ページ)
  - 4月15日(水)までに県特研事務局まで必ず提出してください。

令和 7 年度 佐賀県特別支援教育研究会 業務報告

事業名	期日	業務内容	会場等
・第1回 運営委員会	4月25日（金） 15:00～16:30	・第1回理事・幹事研修会に向けての打ち合わせ	中原特別支援学校 (みやき町大字原古賀)
・第1回 幹事研修会 ・第1回 理事研修会	5月8日（木） 15:00～16:30	・令和6年度業務・会計報告、監査報告 ・令和7年度役員選出 ・令和7年度業務計画案・予算案について ・令和7年度表彰候補者推薦について ・令和7年度九特連長崎大会について ・その他	アバンセ (佐賀市天神3-2-11 TEL 0952-26-0011)
・九特連長崎大会 評議員会①	5月22日（木）	・令和6年度業務・会計報告、監査報告 ・九特連長崎大会について（令和7年度業務計画・予算案・大会日程等） (会長、副会長、事務局長が参加)	各所（オンライン開催）
・第2回 幹事研修会	総会がリモート開催 のため実施しない	・総会準備 その他	
・総会 及び研修会	6月3日（火） 14:30～16:30	〔総会〕 ・会長挨拶 ・R7年度役員案 ・R6年度業務、会計報告、監査報告 ・R7年度業務計画案、予算案、審議 その他 〔研修会〕 ・研究調査報告 先進校視察 大渕 栄一先生（うれしの特別支援学校） ・九特連長崎大会プレ発表 山口 美里先生、松井 亜里更先生（伊万里特支学校） 待鳥由布子先生（中原中学校）	中原特別支援学校をホスト会場として のオンライン開催
・研究調査	7月～8月	佐賀県内特別支援学校名及び特別支援学級設置校名一覧作成	中原特別支援学校
・九特連長崎大会 評議員会②	7月10日（木）	・九特連長崎大会に向けての打ち合わせ (会長、副会長、事務局長が参加)	各所（オンライン開催）
・第3回 幹事研修会	7月22日（火） 15:00～16:30	・「第6回障がい児（者）の教育、福祉、就労研修佐賀県大会」について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場として のオンライン開催
・研修会	7月27日（日）	第6回障がい児（者）の教育・福祉・就労研修佐賀県大会 感謝状受賞者推薦5名： 伊西地区、杵武地区、大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援 役員：副会長、記録、受付、保育など（県特研より17名参加）	北部地区（伊万里市） 伊万里市民センター (伊万里市松島町391-1)
・第59回 九特連長崎大会	8月1日（金） 9:30～16:20	・主題 「共生社会の中で多様な子供の可能性を引き出す特別支援教育の推進 ～学びの連続性と学びの場の充実に向けて～」  ・講演演題：「多様な子供へのキャリア発達支援と評価 ～キャリアパスポートの活用を通して～」 講師：弘前大学 教職大学院 教授 菊地 一文 氏  ・第1分科会 各教科等の指導（小学校段階） 提案者：伊万里特別支援学校 山口 美里先生 松井 亜里更先生 司会者：中原特別支援学校 梶原 ミサ 指導助言者：佐賀県教育振興課特別支援教育室 園田 洋平指導主事  ・第7分科会 発達障害への支援 提案者：みやき町立中原中学校 待鳥 由布子先生	アルカス S A S E B O (佐世保市三浦町2-3 TEL 0956-42-1111)
・第4回 幹事研修会	10月16日（木） 15:00～16:30	・上期運営の反省 ・機関紙「ともしひ その67」編集・刊行について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場として のオンライン開催
・第64回 全特連全国大会 「北海道大会」	10月23日（木） ～24日（金）	・主題 「特別な配慮を必要とする子供たちがその可能性を最大限に伸ばすための指導・支援及び、将来の自立と社会参加に必要な力を育成するための適切な指導・支援を目指して」  ・記念講演演題：「一人一人の良さや強みを生かした、子供主体の学びの実現」 ～一人一人に合った学びの場や授業づくり～ 講師：広島都市学園大学 教授 竹林地 肇 様	カナモトホール (札幌市中央区北1条1丁目) ホテルライフォート札幌 (札幌市中央区南10条1丁目4-30) 札幌市及び周辺の幼稚園、認定こども園、特別支援学級、特別支援学校
・九特連長崎大会 評議員会③	10月30日（木）	・九特連長崎大会の反省等 (会長、副会長、事務局長が参加)	各所（オンライン開催）
・第2回 運営委員会	12月16日（火） 15:00～16:30	・第2回理事・第5回幹事研修会に向けての打ち合わせ	県総合福祉センター (佐賀市天祐1丁目8-5)
・第2回 理事研修会 ・第5回 幹事研修会	1月9日（金） 15:00～16:30	・令和7年度業務・会計に関する中間報告 ・令和8年度業務計画・予算案について ・機関誌「ともしひ その67」の発刊 ・その他	県総合福祉センター (佐賀市天祐1丁目8-5)
・新年情報交換会	1月9日（金） 19:00～21:00	・県特研、手をつなぐ育成会、知的障害者福祉協会、社会就労センター協議会の四者共催	ホテルマリターレ創生 (佐賀市神野東2丁目5番15号 TEL 0952-33-5511)
・会計監査	3月下旬	・令和7年度会計監査	中原特別支援学校

令和7年度 佐賀県特別支援教育研究会 一般会計 収支中間報告

1 収入の部

(単位:円)

区分	R 7年度予算額 a	本年度中間決算額 b	増減額 b-a	備考
負担金	434,010	434,010	0	1,955円×222校=434,010
県費補助金	60,000	60,000	0	
寄付金	0	0	0	
活動補助費	0	0	0	
雑収入	0	178	178	銀行利息等
繰越金	132,780	132,780	0	R 6年度残金
計	626,790	626,968	178	

2 支出の部

区分	R 7年度予算額 a	本年度中間決算額 b	増減額 a-b	備考
研究大会及び研修会	諸謝金 16,000	0	16,000	総会講師等 0 夏季研究大会 0
	旅費 3,000	0	3,000	総会 0 夏季研究大会 0
	資料費 10,000	0	10,000	総会 0 夏季研究大会 0
	賃借料 50,000	4,370	45,630	総会、理事・幹事会会場 4,370 夏季研究大会 0
	印刷製本費 0	0	0	
	会議費 0	0	0	
	消耗品費 6,000	1,150	4,850	総会、理事・幹事会等 1,150 夏季研究大会 0
	通信運搬費 20,000	5,280	14,720	切手代・通信代
	小計 105,000	10,800	94,200	
研究調査	諸謝金 0	0	0	
	旅費 60,000	0	60,000	
	資料費 0	0	0	
	印刷製本費 0	0	0	
	賃金 0	0	0	
	会議費 0	0	0	
	消耗品費 0	0	0	
	通信運搬費 0	0	0	
	小計 60,000	0	60,000	
研究成 果刊行	旅費 0	0	0	
	資料費 0	0	0	
	印刷製本費 170,000	146,850	23,150	「ともしび」印刷費
	会議費 0	0	0	
	通信運搬費 10,000	0	10,000	切手代・通信代
	小計 180,000	146,850	33,150	
研究図書購入	資料費 5,000	3,650	1,350	職員録等
	図書購入費 5,000	0	5,000	
	小計 10,000	3,650	6,350	
	計 355,000	161,300	193,700	
負担金	九特連負担金 54,000	50,050	3,950	
	全特連負担金 150,000	125,667	24,333	
	スポーツ協会費 6,000	5,220	780	
	小計 210,000	180,937	29,063	
事務予備費 61,790		34,913	26,877	
合計 626,790		377,150	249,640	

※九特連負担金 特別支援・通級の学級数が4以下設置の学校295×150円=44,250円

特別支援・通級の学級数が5以上と知的障害特別支援学校7×750円=5,250円 計49,500円

振込手数料550円 合計50,050円

※全特連分担金 佐賀県下学級数501×250円=125,250円、振込手数料417円 合計125,667円

## ○特別会計趣旨

## 1 収入

- ・自県で開催した九特連・全特連の大会費（参加費）等の残金を特別会計の収入とする。

## 2 支出

- ・夏季研究大会等の講師謝金、旅費、会場費等が多額になり、一般会計予算を超えた場合、その都度審議して特別会計から補填する。
- ・九特連・全特連大会への派遣費及び視察費（交通費、旅費、宿泊費等）の補助として使用する。
- ・自県で行われる大きな大会（全特連大会、九特連大会等）の運営費補助として使用する。

## 1 収入の部

(単位：円)

区分	本年度予算額a	本年度中間決算額b	増減額b-a	備考
繰 越 金	1,148,034	1,148,034	0	令和7年度特別会計より
雑 収 入	0	912	912	銀行利息
合 計	1,148,034	1,148,946	912	

## 2 支出の部

区分	本年度予算額a	本年度中間決算額b	増減額a-b	備考
研究研修会	187,000	61,439	125,561	九特連大会（長崎県） 派遣旅費（事務局長） 16,100 派遣旅費（提案者2名） 28,400 派遣旅費（助言者） 16,939
活動補助	0	0	0	
研究調査	旅費	0	0	
九特連佐賀大会	積立金	0 0	0 0	
	準備金	0	0	
	運営補助	0	0	
合 計	187,000	61,439	125,561	

収入合計(A) 1,148,946

支出合計(B) 61,439

収支残高(A)-(B) 1,087,507

(繰り越し金)

※（総収入額） - （総支出額） = （残額） は次年度へ繰り越します。

令和 8年度 佐賀県特別支援教育研究会 業務計画 (案)

事業名	期日	業務内容	会場等
・第1回 運営委員会	4月23日(木) 15:00~16:30	・第1回理事・幹事研修会に向けての打ち合わせ	中原特別支援学校 (みやき町大字原古賀)
・第1回 幹事研修会 ・第1回 理事研修会	4月30日(木) 15:30~16:30	・令和7年度業務・会計報告、監査報告 ・令和8年度役員選出 ・令和8年度業務計画案・予算案について ・令和8年度表彰候補者推薦について ・令和8年度九特連大分大会について ・その他	ゆめプラット小城(仮) (小城市小城町253-21 TEL 0952-37-6601)
・九特連大分大会 評議員会①	5月 日( ) 15:15~16:45	・令和7年度業務・会計報告、監査報告 ・九特連大分大会について(令和8年度業務計画・予算案・大会日程等) (会長、副会長、事務局長が参加)	オンライン予定
・第2回 幹事研修会	総会がリモート開催のため実施しない	・総会準備 その他	
・総会及び 第1回研修会	6月2日(火) 14:30~16:30	〔総会〕 ・会長挨拶 ・R8年度役員案 ・R7年度業務、会計報告、監査報告 ・R8年度業務計画案、予算案、審議 ・R8年度九特連大分大会について 〔研修会〕 ・講演:「わかる」「できる」ICT活用(仮) 講師:松永 泰臣氏(佐賀県立中原特別支援学校)	中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催
・九特連大分大会 評議員会②	月 日( ) 15:15~16:45	・九特連大分大会に向けての打ち合わせ (会長、副会長、事務局長が参加)	オンライン予定
・研究調査	7月~8月	「佐賀県特別支援学校及び特別支援学級設・通級指導教室設置校一覧」作成	中原特別支援学校
・夏季研究大会	7月31日(金) 9:00~16:30	第50回 九州地区難聴・言語障害教育研究会 佐賀大会 第62回 佐賀県特別支援教育研究会 夏季研究大会 ・主題 「これから難聴・言語障害教育のあり方を考える」 ～子どもや保護者のニーズに応える支援や連携をめざして～ ・記念講演 「演題未定」 講師 明治学院大学 心理学部教育発達学科 教授 梅津 亜希子氏	アバンセ (佐賀市天神3-2-11 TEL 0952-26-0011)
・第3回 幹事研修会	8月20日(木) 9:50~10:20	・「総会及び研修会」の反省 ・機関紙「ともしび その68」編集・刊行について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催
・第2回研修会	10:30~12:00	・九特連大分大会プレ発表(唐津市立北波多小学校、唐津特別支援学校)	
・九特連大分大会 評議員会③	月 日( ) 15:15~16:45	・九特連大分大会に向けての打ち合わせ (会長、副会長、事務局長が参加)	オンライン予定
・第65回 全特連全国大会 「新潟大会」	10月 日( )	・主題 「未定」  ・記念講演演題:「 講師:	
・第60回 九特連研究大会 「大分大会」	11月19日(木) ~20日(金)	・主題 「共生社会の中で自分の力を最大限に発揮する子どもの育成をめざすと特別支援教育の推進」  ・講演演題:「未定」 講師:全日本特別支援教育研究連盟 理事長 植草学園大学 名誉教授 名古屋 恒彦 氏  ・第6分科会 交流および共同学習 提案者:唐津市立北波多小学校 高添 紗恵子先生  ・第7分科会 発達障害への支援 提案者:佐賀県立唐津特別支援学校 司会者:佐賀県特別支援教育研究会事務局 指導助言者:未定	第1日目(全体会) ・J:COMホルトホール大分 (大分市金池南一丁目5番1号 TEL 097-576-7555)  第2日目(分科会) ・別府市鶴見小学校 ・大分県立中央支援学校 ・大分県立新生支援学校 ・大分県立さくらの杜高等支援学校 ・大分大学教育学部附属特別支援学校 ・大分市立鶴崎小学校 ・大分市立原川中学校
・第4回 幹事研修会	11月24日(火) 15:30~16:30	・上期運営の反省 ・「障害児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会」について ・その他	中原特別支援学校をホスト会場としてのオンライン開催
・第3回研修会	11月29日(日)	第67回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会 感謝状受賞者推薦5名: 唐津地区、鹿嶋藤地区、附属特別支援、伊万里特別支援、中原特別支援 役員: 副会長、記録、受付、保育など	佐賀地区
・第2回 運営委員会	12月中旬	・第2回理事・第5回幹事研修会に向けての打ち合わせ	中原特別支援学校 (みやき町大字原古賀)
・第2回 理事研修会 ・第5回 幹事研修会	1月8日(金) 15:00~16:30	・令和7年度業務・会計に関する中間報告 ・令和8年度業務計画・予算案について ・機関誌「ともしび その68」の発刊 ・その他	ゆめプラット小城(仮) (小城市小城町253-21 TEL 0952-37-6601)
・新年情報交換会	1月8日(金) 19:00~21:00	・県特研、手をつなぐ育成会、知的障害者福祉協会、社会就労センター協議会の四者共催	ホテルグランデはがくれ(仮) (佐賀市天神2-1-36 TEL 0952-25-2212)
・会計監査	3月下旬	・令和8年度会計監査	中原特別支援学校

# 令和8年度佐賀県特別支援教育研究会総会及び第1回研修会実施要項 (案)

- 1 日 時 令和8年6月2日（火） 14：30～16：30
- 2 場 所 佐賀県立中原特別支援学校
- 3 開催方法 ハイブリッド型研修会（一般参加者はオンライン視聴）  
※提案者、司会者等、関係者は会場参加
- 4 日程・内容
- 受付 14：00～14：25  
①入室開始は14：00とする。参加者名のところを学校名・氏名に変更する。  
②カメラ・音声がつながっているか確認する。  
③カメラはON、マイクはミュートする。（発言の時のみ解除できる）
- (1)開会 14：30  
佐賀県特別支援教育研究会副会長
- (2)会長挨拶 佐賀県特別支援教育研究会会长
- (3)議長選出
- (4)協議  
①令和7年度業務・会計報告・・・・・・・・・・・・（事務局）  
②令和7年度会計監査報告・・・・・・・・・・・・（事務局）  
③令和8年度役員（案）・・・・・・・・・・・・（事務局）  
④令和8年度業務計画（案）及び予算（案）審議・・・（事務局）  
⑤その他
- (5)研修会 15：00～16：25  
講演 「わかる」「できる」ICT活用（仮）  
講師 佐賀県立中原特別支援学校教諭 松永 泰臣氏  
質疑応答
- (6)閉会 16：30  
佐賀県特別支援教育研究会副会長

※総会のスムーズな進行（時間短縮）を図るため、参加表または委任状の提出の時に、協議事項に関しては、事前に不明な点や質問を受けておく。

※総会研修会のアンケートに関しては、QRコードからフォームのアンケートに回答してもらう。

令和 8 年度 佐賀県特別支援教育研究会 一般会計 収支予算 (案)

1 収入の部

区分	R 8 年度予算額 a	R 7 年度予算額 b	増減額 a - b	備考
負担金	434,010	434,010	0	1,955 円 × 222 校 = 434,010
県費補助金	60,000	60,000	0	
寄付金	0	0	0	
活動補助費	0	0	0	
雑収入	0	0	0	銀行利息等
繰越金	246,668	132,780	113,888	R 7 年度残金
計	740,678	626,790	113,888	

2 支出の部

区分	R 8 年度予算額 a	R 7 年度予算額 b	増減額 a - b	備考
研究大会及び研修会	諸謝金	16,000	16,000	0 総会講師等 16,000
	旅費	13,000	3,000	10,000 総会 3,000 夏季研究大会 (九難言大会) 0
	資料費	10,000	10,000	0 総会 10,000 夏季研究大会 (九難言大会) 0
	賃借料	50,000	50,000	0 総会、理事・幹事会会場 50,000 夏季研究大会 (九難言大会) 0
	印刷製本費	0	0	0
	会議費	0	0	0
	消耗品費	6,000	6,000	0 総会、理事・幹事会等 6,000 夏季研究大会 (九難言大会) 0
	通信運搬費	10,000	20,000	△ 10,000 切手代・通信代
	大会助成金	130,000	0	130,000 夏季研究大会 (九難言大会) 130,000
小計		235,000	105,000	130,000
研究調査	諸謝金	0	0	0
	旅費	60,000	60,000	0
	資料費	0	0	0
	印刷製本費	0	0	0
	賃金	0	0	0
	会議費	0	0	0
	消耗品費	0	0	0
	通信運搬費	0	0	0
小計		60,000	60,000	0
研究成 果 刊 行	旅費	0	0	0
	資料費	0	0	0
	印刷製本費	170,000	170,000	0 「ともしび」印刷費
	会議費	0	0	0
	通信運搬費	10,000	10,000	0 切手代・通信代
	小計	180,000	180,000	0
研究図書購入	資料費	5,000	5,000	0 職員録等
	図書購入費	5,000	5,000	0 特別支援教育研究書等
	小計	10,000	10,000	0
	計	485,000	355,000	130,000
負担金	九特連負担金	54,000	54,000	0
	全特連負担金	150,000	150,000	0
	スポーツ協会費	6,000	6,000	0
	小計	210,000	210,000	0
事務予備費		45,678	61,790	△ 16,112
合計		740,678	626,790	113,888

※九特連負担金 特別支援・通級の学級数が4以下設置の学校295×150円=44,250円

特別支援・通級の学級数が5以上と知的障害特別支援学校数7×750円=5,250円 計49,500円

振込手数料550円 合計50,050円

※全特連分担金 佐賀県下学級数501×250円=125,250円、振込手数料417円 合計125,667円

R 7 実績で計算

令和8年度 佐賀県特別支援教育研究会 特別会計 収支予算 (案)

○特別会計趣旨

1 支出

- ・夏季研究大会等の講師謝金、旅費、会場費等が多額になり、一般会計予算を超えた場合、その都度審議して特別会計から補填する。
- ・九特連・全特連大会への派遣費及び視察費（交通費、旅費、宿泊費等）の補助として使用する。
- ・自県で行われる大きな大会（全特連大会、九特連大会等）の運営費補助として使用する。

2 収入

- ・自県で開催した九特連・全特連の大会費（参加費）等の残金を特別会計の収入とする。

1 収入の部

(単位：円)

区分	本年度予算額a	前年度予算額b	増減額a-b	備考
繰 越 金	1,087,507	1,148,034	△ 60,527	令和7年度特別会計より
雑 収 入	0	912	△ 912	銀行利息
合 計	1,087,507	1,148,946	△ 61,439	

2 支出の部

区分	本年度予算額a	前年度予算額b	増減額a-b	備考
研究研修会	205,500	187,000	18,500	九特連大会（大分県） 派遣旅費（会長） 20,300 派遣旅費（事務局長） 20,300 派遣旅費（提案者2名） 40,600 派遣旅費（助言者） 20,300 全特連大会（関東甲信越） 派遣旅費（会長） 104,000
活動補助	0	0	0	
研究調査	旅費	0	0	
九特連佐賀大会	積立金	0	0	
		0	0	
	準備金	0	0	
	運営補助	0	0	
合 計	205,500	187,000	18,500	

収入合計(A) 1,087,507

支出合計(B) 205,500

収支残高(A)-(B) 882,007

(繰り越し金)

※繰り越し金=（総収入額）-（研究研修会支出）は次年度へ繰り越します。

# 県特研 事業・提案輪番について (R 8年度 R 7年12月作成)

## (1) 提案発表者選出

- 夏季研修会に秋季研究大会を統合し、名称を「夏季研究大会」とする (H 29年度より)。
- 全特連大会、九特連大会の地区の提案発表担当 (特別支援学校の輪番はこれまで通り) の輪番を一本化し、佐城5地区、唐津4地区、鹿嬉藤2地区、伊西2地区、三神3地区、杵武2地区の計18地区によるローテーションとする。
- ※ 全特連大会の提案予定で特別支援学級、特別支援学校のうち当たらなかった方は次の年度の提案発表に順送りする。また、大会によって予定より発表数が多かった場合は次の予定を繰り上げるなど、輪番どおりに進めていくことを基本とする。

R10 R6 R11 R12 R13 R13 R14

R6 R7 R8 R9 R6 R10 R11 R12 R13 R14

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
地区	佐城	唐津	杵武	佐城	三神	鹿嬉藤	唐津	佐城	伊西	三神	唐津	佐城	杵武	鹿嬉藤	佐城	唐津	三神	伊西
(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(2)	(5)	(4)	(3)	(2)
	1	2	3	4	5	6												
特別支援学校	大和特支	佐大附属特支	うれしの特支	伊万里特支	唐津特支	中原特支												

R 6 佐賀大会  
で提案

- ※ 夏季研究大会の提案者等は開催担当地区事務局で計画するが、全特連大会や九特連大会発表の事前検討会と位置付け、全特連大会、九特連大会提案者の発表を考慮を入れる。

## (2) 大会開催担当地区について

- ・夏季研究大会の大会開催担当はこれまでどおり次の6地区の輪番で行う。
- ・九特連大会、全特連大会が佐賀県担当の年度はそれに替える。その際は、特別支援学校が事務局としての業務を行うため、大会開催年度の事務局のある地区と開催担当を入れ替える。

地区	1	2	3	4	5	6
	唐津	三神	佐城	伊西	杵武	鹿嬉藤

- ・地区と事務局 (特別支援学校) の組み合わせは次のとおり。

- ・佐城地区、杵武地区と大和特別支援学校
- ・三神地区と中原特別支援学校
- ・伊西地区と伊万里特別支援学校
- ・鹿嬉藤地区とうれしの特別支援学校
- ・唐津地区と唐津特別支援学校

- ・事務局等の輪番について

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
西暦	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
会長	伊西地区		大和特支		杵武地区		中原特支		三神地区		唐津特支		附属特支		伊万里特支	
副会長	大和特支		杵武地区		中原特支		三神地区		唐津特支		附属特支		伊万里特支		伊西地区	
	杵武地区		中原特支		三神地区		唐津特支		附属特支		伊万里特支		伊西地区		うれしの特支	
事務局	大和特支			中原特支			唐津特支			伊万里特支						

年度	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34
西暦	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
会長	伊西地区	うれしの特支	鹿嬉藤地区	大和特支	佐城地区	中原特支	三神地区	唐津特支								
副会長	うれしの特支	鹿嬉藤地区	大和特支	佐城地区	中原特支	三神地区	唐津特支	唐津地区								
事務局	うれしの特支		大和特支		中原特支	三神地区	唐津特支	唐津地区								

会長担当の地区及び特別支援学校

三神・佐城・唐津・伊西・杵武・鹿嬉藤、中原・大和・唐津・伊万里・うれしの・附属

事務局（特別支援学校5校）

うれしの⇒大和⇒中原⇒唐津⇒伊万里⇒うれしの

### (3) その他の確認事項

- ・全特連大会、九特連大会などは早くからの準備が必要であるため、事務局は任期終了までにその後8年間の輪番計画を作成する。また、不都合が予想される場合は、早めに検討を行い、変更を周知する。

#### 夏季研修大会について

- ・夏季研究大会は、九特連大会、九情研大会、九難言大会等が開催される場合はそれに替える。
- ・夏季研究大会は、夏季休業中に行う。基本スタイルは講演会と分科会とする。
- ・分科会については、
  - ①小学校 ②中学校 ③特別支援学校 ④自閉症・情緒障害
  - ⑤LD・ADHD等 とする。(開催地区裁量で変更もあり)
- ・①②③については、九特連大会のプレ発表とする。
- ・講演については、担当地区で講師を探し、本人からの内諾を得る。その後、県特研事務局が講師派遣依頼書を所属先に、講演依頼文書を本人宛に出す。
- ・県特研事務局が佐賀県教育委員会、開催地区教育委員会に対して後援依頼を出す。
- ・案内については開催地区事務局が作成し、県特研事務局が、県内市町立小・中学校及び県内特別支援学校、県内教育事務所、県内市町教育委員会に出す。

※佐賀県教育委員会には、総会のみ案内を出す。研究大会については案内を出さなくてよい。

(H29年度県教委より)

※県特研事務局が行うこと⇒県特研会長の印鑑（角印）を必要とする文書の作成（講演依頼文書、提案者依頼文書、助言者依頼文書等）

※開催地区事務局が行うこと⇒県特研事務局が行う以外のこと

- ・原則として、①②の運営については開催地区事務局が行うが、必要に応じて県特研事務局も運営会議には参加するものとする。③の運営については開催地区にある特別支援学校が行う。④⑤の運営については研究会が運営を行うものとする（各研究会の事情により地区の研究会担当者が行ってもよいものとする）。
  - ・運営スタッフについては、開催地区が担当する。
  - ・運営スタッフの割り振りについては、開催地区事務局が行う。
  - ・「ともしび」に掲載するため、講演会要旨、分科会要旨を開催地区でまとめる。
- ※講演会要旨については、まとめた後、講師に確認をしていただき、「ともしび」に掲載していいかの了解を得ておく（開催地区事務局が行う）。
- ※分科会要旨についても、助言者・提案者に「ともしび」掲載の了解を得ておく。
- ※分科会要旨については、2ページ以内に収めるように努める。
- ※余白を、左右上下20mmにしておく。

(4) 上記(1)及び(2)に基づく令和3年度～令和18年度までの計画

R10までの計画は提案済みであるため、R11からの輪番については、

これまでの大和→附属→うれしの→伊万里→唐津→中原の輪番に戻すこととする。

大会	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
全特連大会	開催担当	近畿(和歌山)	東北(秋田)	中国四国(徳島)	東海北陸(福井)	北海道(札幌)	関東甲信越(新潟)	九州(熊本)	近畿
	佐賀県発表担当				伊西①			佐城④中原特支	
九特連大会	開催担当県	熊本	沖縄	福岡	佐賀佐城大和特支	長崎	大分	全特連大会	宮崎
	発表担当	鹿嬉藤①大和特支	唐津②附属特支	佐城③中原特支	杵武②	三神②伊万里特支	唐津③唐津特支	佐城④中原特支	佐城④鹿嬉藤②大和特支
九情研大会	福岡	沖縄	長崎	佐賀	大分	熊本	鹿児島	宮崎	
九難言大会	宮崎	鹿児島	長崎	沖縄	熊本	佐賀	福岡	大分	
県大会及び夏季研開催担当	杵武 ↓ 中止	鹿嬉藤	九特連大会準備のため	九特連大会佐城大和特支九情研大会	R3より2年に1回	九難言大会	R3より2年に1回		唐津
県特研事務局	大和特別支援学校				中原特別支援学校				

大会	年度	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
全特連大会	開催担当	東北	中国四国	東海北陸	関東甲信越	九州(大分)	近畿	東北	中国四国
	佐賀県発表担当			唐津④ 三神③ 伊万里特支		佐城② うれしの特支			
九特連大会	開催担当県	鹿児島	沖縄	福岡	佐賀唐津唐津特支	大分	長崎	熊本	宮崎
	発表担当	鹿嬉藤② 佐城⑤ 附属特支	佐城⑤ 唐津④ うれしの特支	三神③ 伊西② 唐津特支	中原特支 大和特支 附属特支 伊西② 佐城① 唐津① 杵武①	佐城② うれしの特支	三神① 伊万里特支	鹿嬉藤① 唐津特支	唐津② 中原特支
九情研大会	福岡	沖縄	長崎	佐賀	大分	熊本	鹿児島	宮崎	
九難言大会	宮崎	鹿児島							
県大会及び夏季研開催担当	R3より2年に1回	三神	R3より2年に1回	九特連大会唐津唐津特支	R3より2年に1回	伊西	R3より2年に1回		杵武
県特研事務局	唐津特別支援学校				伊万里特別支援学校				

○ 大会開催担当について

※ 事務局が任期終了時に8年後までの計画を示すことで、見通しを持った準備ができるようにしておく。

【参考】 例年、全特連大会での提案は九州から2県が当たり、4年ごとに回ってくることになり、特別支援学級か特別支援学校のうちのいずれかの提案となる。年度により九州の3県が当たって3年後に輪番が回ってきた年もある。

・他県で開催される九特連大会での提案は特別支援学級と特別支援学校が1つずつ担当する。

※夏季研究大会の服務の取扱いについて（R元年7月20日特別支援学校 校長会にて）

→出張か校外研修か、いずれの取り扱いとするかは各学校長の判断とする。

(5) その他の確認事項

○九特連大会・全特連大会の提案等の輪番について

- ①提案者：基本ローテーション（別紙参照）による。
- ②司会者：県特研事務局より1名を出す。
- ③助言者：事務局が県教育振興課指導主事に依頼する。

年 度	小中学校分科会	特別支援学校分科会	開催県
令和 4年度	生活単元学習 唐津②	教科別の指導 佐大附属特別支援学校	沖縄県
令和 5年度	日常生活の指導 佐城③	生活単元学習 中原特別支援学校	福岡県
			徳島県 全特連
令和 6年度	各教科等を合わせた指導 杵武②		佐賀県
	通常学級における合理的配慮 伊西①		福井県 全特連
令和 7年度	開催県が独自に設定 ・発達障害への指導支援 三神② 中原中学校	各教科等の指導（小学校段階） 伊万里特別支援学校	長崎県
令和 8年度	開催県が独自に設定 ・交流および共同学習 唐津③	開催県が独自に設定 ・発達障害への支援 唐津特別支援学校	大分県
令和 9年度		キャリア教育・進路指導 中原特別支援学校	熊本県 全特連

【今後の提案割り当て】

年度・開催県 分科会	R 6 佐賀	R 7 長崎	R 8 大分	R 9 熊本	R 10 宮崎	R 11 鹿児島	R 12 沖縄	R 13 福岡	R 14 佐賀
①各教科等の指導 (小学校段階)		伊万里特支						伊西② 三神③	
②各教科等の指導 (中学校・高等学校段階)							唐津④ 佐城⑤	唐津特	
③各教科等を合わせた指導	杵武②			佐城①			うれしの特支		
④キャリア教育・進路指導				中原特支		佐城⑤ 鹿嬉藤②			
⑤自立活動					鹿嬉藤② 佐城④	附属特支			
⑥開催県が独自に設定			唐津③		大和特支				
⑦開催県が独自に設定		三神②	唐津特支						

中原特支  
大和特支  
附属特支  
伊西②  
佐城①  
唐津①  
杵武①

※各教科等の指導については、小学校段階：小学校・小学部

中学校・高等学校段階：中学校・中学部・高等学校・高等部

※R 14 佐賀大会については、提案地区・学校を示しており、どの分科会を担当するかは、その都度決定する。

## 県特研申し合わせ事項

令和 7年 12月 16日

### 1 事業について

#### (1) 夏季研究大会について

29年度より従来の「夏季研修会」と「秋季(授業)研究大会」を統合し、「夏季研究大会」とする。

① 担当ローテーション(別紙参照)

② 大会旅費等について

- ・大会当日の発表者と指導助言者の旅費を大会の予算で賄うことを原則とする。
- ・大会の発表者、指導助言者の旅費の部分で予算オーバーが起こる時には、事務局と相談する。
- ・事前打ち合わせ会の旅費は、大会予算を使わない。(地区の会などでお願いしたい)
- ・大会補助については特別会計から出さない。29年以降は検討する。

③ 講師謝金について

a. 県職員には謝金は支給しない。謝金の代わりに弁当または手土産を渡している。

b. 謝礼の基準は次のようにする。

- ・大学教授 … 6,000円 (1時間あたり)
- ・大学准教授 … 5,000円 (1時間あたり)
- ・一般講師 … 4,000円 (1時間あたり)

c. 旅費

・車利用の場合は、1kmあたり20円で計算する。

・県職員の旅費 … 勤務校からのキロ数×20円で支給する。

④ その他

・九難言佐賀大会、九情研佐賀大会については、夏季研究大会を兼ねて実施する。

・R2より全特連大会、九特連大会の前年と翌年は、夏季研究大会を実施しない。(2年に1回)

・挨拶、来賓紹介等、開催地区が担当して行う。

#### (2) 新年情報交換会について

- ・1月第2金曜日または第3金曜日に開催する。

#### (3) 機関誌「ともしび」について

- ・年度内に発刊・配布する。

平成31年度より、九特連大会や各種大会等の発表資料を持って研究報告とする。また、夏季研究大会の大会集録としての機能を持たせることにより、会員校の負担軽減とする。

#### (4) 障害者スポーツ大会について

・5月と10月に開催

・全国障害者スポーツ大会県代表選考会は5月の日曜日に開催。

・県障害者スポーツ大会は、10月開催予定

開会式は、県民体育大会、佐賀県障害者スポーツ大会、さがねんりんピックの合同となる。

・参加資格 … 4月1日現在で6歳以上の者。ただしボウリング、卓球競技については10歳以上の者。

・大会要項は事務局より全会員校に送付する。

・これまで、ゼッケンは事務局で保管・管理していたが、ゼッケン番号が個人のものとなったので、保管・管理については各学校で行う。→ 管理・運営等は各校の体育科で行っている。

#### (5) 総会について

- ・県内全小中学校に案内を出す。

学校から1名も参加できない場合は、委任状を提出してもらう。

#### (6) 研究調査について

[目的]

- ・先進校視察等による情報収集
- ・特別支援教育についての問題提起の材料を探す

[調査方法]

① 医療的ケアや研究モデル校等の視察

② 研修会・研究会・セミナー等への参加

[手続き]

- ・年間1件(6月～10月まで)で募集をかけ、旅費、宿泊費、参加費を含めて、1件につき、60,000円を上限とする。

- ・県特研事務局で審査をして決定をする
- ・研修後は報告書を作成し、機関誌「ともしび」に掲載をする
- ・夏季研究大会を実施しない年度に（2年に1回）実施する

- 2 研究テーマについて  
 ・県特研研究テーマは、4年毎に見直す。

令和8年度～11年度テーマ

「

」

- 3 事務局輪番について（別紙参照）  
 ・事務局は特別支援学校5校で回し、任期は4年間とする。  
 ・事務局後半2年間は事務局校の校長が会長となるようにする。  
 ・事務局輪番

和暦	H25～28	H29～R2	R3～R6	R7～R10	R11～R14	R15～R18	R19～R22
西暦	13～16	17～20	21～24	25～28	29～32	33～36	37～40
学校	伊万里	うれしの	大和	中原	唐津	伊万里	うれしの
備考	九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施
年号	R23～R26	R27～R30	R31～R34	R35～R38	R39～R42	R43～R46	R47～R50
西暦	41～44	45～48	49～52	53～56	57～60	61～64	65～68
学校	大和	中原	唐津	伊万里	うれしの	大和	中原
備考		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施		九特連佐賀大会実施	

4 九特連大会・全特連大会の提案等の輪番について

- (1) 九特連大会について  
 ① 提案者  
 ・基本ローテーション（別紙参照）による。  
 ② 司会者  
 ・県特研事務局より1名を出す。  
 ③ 助言者  
 ・事務局が県教育振興課指導主事に依頼する。
- (2) 全特連大会提案者について（4年に1回程度）  
 ① 基本ローテーション（九特連大会に同じ）  
 ② 申し合わせ事項  
 ・九州地区で全特連大会が開催された場合、九特連大会ローテーションを適用する。司会者、助言者についても同様。

5 九特連大会、全特連大会等の派遣費について

- (1) 提案者、司会者、助言者、会長について  
 ・必要に応じて一般会計及び特別会計より支出する。  
 ・助言者については、佐賀県教育委員会教育振興課特別支援教育室に依頼し、該当する分を支出する。  
 ・派遣費として1泊2日分交通費、宿泊代または日帰り交通費、参加費を支出する。
- (2) 全特連功劳賞表彰について  
 表彰者の派遣費は支出しない。
- (3) その他  
 ・提案者事前視察、応援者等の派遣費は支出しない。

- 6 大会補助について  
 ・九難言佐賀大会、九情研佐賀大会を夏季研究大会と兼ねて実施する場合は、夏季研究大会の費用分を

補助する。（13万円）

#### 7 会費について

- 会費は市町法令外負担金申請を行い、決定通知を元にその金額を定める。  
平成22年度～ 1,955円
- 特別支援学級設置学校及び特別支援学校において会費を負担するものとする。その際、分校は本校に含める。小中一貫校は、校長毎に1校とカウントする。

#### 8 表彰候補者推薦について

- 全特連功労賞（1名）…前年度に三役、事務局で選出する。
- 障がい児(者)の教育と福祉・就労振興研修佐賀県大会における感謝状（5名）
  - 前年度に割り当て地区、学校で選出する。（計画は下表のとおり）
  - 5名は、2地区の小中学校と3校の特別支援学校より1名ずつを推薦する。

年 度	推 薦 地 区 お よ び 特 別 支 援 学 校	
令和4年度	伊西地区、杵武地区	中原特別支援、金立特別支援、大和特別支援
令和5年度	唐津地区、鹿嬉藤地区	唐津特別支援、うれしの特別支援、附属特別支援
令和6年度	三神地区、佐城地区	伊万里特別支援、中原特別支援、金立特別支援
令和7年度	伊西地区、杵武地区	大和特別支援、唐津特別支援、うれしの特別支援
令和8年度	唐津地区、鹿嬉藤地区	附属特別支援、伊万里特別支援、中原特別支援
令和9年度	三神地区、佐城地区	金立特別支援、大和特別支援、唐津特別支援
令和10年度	伊西地区、杵武地区	うれしの特別支援、附属特別支援、伊万里特別支援
令和11年度	唐津地区、鹿嬉藤地区	中原特別支援、金立特別支援、大和特別支援
令和12年度	三神地区、佐城地区	唐津特別支援、うれしの特別支援、附属特別支援

#### 9 今後の予定

平成年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
西暦年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
全特連大会	61 東 北 (秋田)	62 中国四国 (徳島)	63 東海北陸 (福井)	64 北海道 (札幌)	65 関東甲信 (新潟)	66 九州 (熊本)	67 近畿	68 東北	69 中国四 国
九特連大会	56 沖 繩	57 福 岡	58 佐 賀	59 長 崎	60 大 分	61 熊 本	62 宮 崎	63 鹿児島	64 沖 繩
九難言大会	46 鹿児島	47 長 崎	48 沖 繩 (全難言)	49 熊 本	50 佐 賀	51 福 岡	52 大 分	53 宮 崎	54 鹿児島
九情研大会	50 沖 繩	51 長 崎	52 佐 賀	53 大 分	54 熊 本	55 鹿児島	56 宮 崎	57 福 岡	58 沖 繩
九肢研大会	59 大 分	60 鹿児島	61 熊 本 (全肢研)	62 佐 賀	63 福 岡	64 長 崎	65 沖 繩	66 宮 崎 大 分	67 鹿児島
九病連大会	62 鹿児島	63 福 岡 (全病連)	64 熊 本	65 大 分	66 宮 崎	67 沖 繩	68 長 崎	69 佐 賀 (全病連)	70 福 岡

令和8年度 幹事役割分担 (案)

業務等		役割分担		
1	佐賀県内特別支援学校及び特別支援学級設置校名一覧の作成	事務局 (データについては、特別支援教育室より提供していただく)		
2	機関誌「ともしび その68」の編集	事務局		
3	総会及び研修会	事務局		
4	第67回知的障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会	全幹事で別途役割分担		
5	夏季研究大会	第50回九難言大会、第62回県特研夏季研究大会		
6 会議の司会・記録の順番	会議等	期日	司会(議長)・進行	記録
	1 第1回運営委員会	4月21日(火)	事務局	事務局
	2 第1回理事研修会	4月30日(木)	司会: (中原特支)	(鹿嬉藤) (LA研)
	第1回幹事研修会			
	3 第2回幹事研修会	6月2日(火)	司会: (唐津特支) 議長: (佐難言)	(佐難言) (佐情研)
	4 総会及び第1回研修会 リモート			
	5 第3回幹事研修会 第2回研修会			
	6 第4回幹事研修会	8月20日(木)	司会: (金立特支)	(三神)
	7 第2回運営委員会	11月24日(火)	司会: (大和特支)	(佐城)
	8 第2回理事研修会	1月8日(金)	司会: (伊万里特支)	(唐津) (伊西)
	第5回幹事研修会			
	新年情報交換会		事務局	事務局
	9 第6回幹事研修会	R2年度から中止		

※司会については、特別支援学校の幹事で行うものとする。

- ・第1回研修会司会を事務局の幹事が行う。
- ・昨年度、第5回研修会の司会はうれしの特別支援学校。
- ・本年度も総会及び研修会はリモート開催となり、第2回研修会は行わないので、総会及び研修会から担当を入れる。入れる順番については、

大和特支⇒伊万里特支⇒附属特支⇒うれしの特支⇒唐津特支⇒中原特支⇒金立特支とする。

※記録については、各支部及び三研究会の幹事で行うものとする。

- ・令和7年度第5回研修会で記録は杵武。入れる順番については、
- 三神⇒佐城⇒唐津⇒伊西⇒杵武⇒鹿嬉藤⇒LA研⇒佐難言⇒佐情研 とする。

※議長については、各支部及び三研究会理事で行うものとする。

- ・令和7年度総会及び研修会で議長はLA研。入れる順番は記録と同じとする。

※令和2年度より、第6回幹事研修会を開催しないものとする。

## 育成会感謝状贈呈者氏名（敬称略）

(No.5)

年 度	所属名	氏 名	大会	年 度	所属名	氏 名	大会
H 24年	金立特支	筑波 法美	佐賀	H 31年	浜玉中	藤田 美雪	佐賀
〃	前福富小	稻田美佐子	〃	〃	浜小	中島 孝子	〃
〃	大和特支	武藤 順子	〃	〃	金立特支	木下ゆかり	〃
〃	伊万里特支	松尾 直美	〃	〃	大和特支	石松哉壽子	〃
〃	有田中部小	山口 淳子	〃	〃	唐津特支	北園 礼子	〃
H 25年	うれしの特支	瀬尾 裕子	〃	R 2年	北茂安小	城戸 幸一	〃
〃	伊万里小	樋口 善広	〃	〃	東与賀小	梶原 紳一	〃
〃	附属特支	大渕 栄一	〃	〃	うれしの特支	近藤 康太	〃
〃	前長松小	中野 郁子	〃	〃	附属特支	牟田 尋之	〃
〃	元古枝小	大宅 幸子	〃	〃	伊万里特支	中島 浩子	〃
H 26年	大和中	阿部 幸子	〃	R 4年	元東山代小	多久島史子	〃
〃	大和特支	岡 康徳	〃	〃	北明小	福田 由美	〃
〃	中原特支	松尾みどり	〃	〃	中原特支	石井 大輔	〃
〃	金立特支	原口 元茂	〃	〃	金立特支	阿部 尚美	〃
〃	鳥栖小	本村 直美	〃	〃	大和特支	吉岡 弘信	〃
H 27年	唐津特支	樋口 英司	〃	R 5年	田野小	福田登志子	〃
〃	うれしの特支	末永 茂寿	〃	〃	浜小	光岡 留美	〃
〃	附属特支	満行 裕二	〃	〃	唐津特支	末次美由紀	〃
〃	大坪小	松尾 法子	〃	〃	うれしの特支	鈴山 俊幸	〃
〃	前白石中	平川 朋子	〃	〃	附属特支	谷川 忠光	〃
H 28年	伊万里特支	岡本 智子	〃	R 6年	千代田中部小	石井 彩	〃
〃	西唐津小	牟田口睦子	〃	〃	松梅校小学部	木田 啓二	〃
〃	金立特支	田代 清	〃	〃	伊万里特支	金子 俊昭	〃
〃	元塩田小	小柳加代子	〃	〃	中原特支	川崎 新一	〃
〃	金立特支	貞島 靖彦	〃	〃	金立特支	本告由美子	〃
H 29年	前西与賀小	今泉 弘	九州	R 7年	伊西地区	犬山 泰子	〃
〃	前鳥栖小	古賀 直美	〃	〃	杵武地区	馬場 聖子	〃
〃	前うれしの特支	中山ひろ子	〃	〃	大和特支	陣内 綾	〃
〃	大和特支	葉山 博	〃	〃	唐津特支	堀田 素子	〃
〃	唐津特支	井手眞由美	〃	〃	うれしの特支	久野 泰子	〃
H 30年	波多津小	松尾美保子	佐賀	R 8年	唐津地区		〃
〃	前須古小	鶴崎三枝子	〃	〃	鹿嬉藤地区		〃
〃	前附属特支	竹本 久美	〃	〃	附属特支		〃
〃	前伊万里特支	前田 京子	〃	〃	伊万里特支		〃
〃	前中原特支	善 由美子	〃	〃	中原特支		〃

第67回障がい児(者)の教育・福祉・就労研修佐賀県大会  
表彰推薦書【感謝状】

(佐賀県特別支援教育研究会)

ふりがな					
氏名					
生年月日	大正 昭和 平成 年 月 日	性別	男 ・ 女	年齢	歳 令和8.4.1現在
現住所	〒	電話 — —			
略歴 現役職も 記入					
功績書 調査					
過去の 表彰歴					

上記のとおり推薦します。

令和8年 月 日

県特研で記入します

推薦者職・氏名 佐賀県特別支援教育研究会会長

印

## 佐賀県特別支援教育研究会 会則

### ( 名 称・組 織 )

- 第 1 条 この会は、佐賀県特別支援教育研究会と称し、別に定める輪番で特別支援学校に事務局をおき、県内に支部をおく
- 第 2 条 支部は三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、LD・ADHD等教育研究会とする。
- 第 3 条 この会は、特別支援教育を実施する学校及び特別支援教育について賛同し、研究しようとするものをもって組織する。

### ( 目 的 )

- 第 4 条 この会は、学校教育法に規定する障害のある児童生徒の教育について、その理論及び実際を研究し、特別支援教育の振興に寄与することを目的する。

### ( 事 業 )

- 第 5 条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- 1 特別支援教育に関する研究会、講演会の開催
  - 2 特別支援教育に関する研究発表及び資料交換
  - 3 特別支援教育施設の視察研究
  - 4 特別支援教育に関する世論の喚起
  - 5 特別支援教育関係機関との連絡提携
  - 6 その他特別支援教育振興に必要な事項

### ( 役 員 )

- 第 6 条 この会に次の役員をおく。
- 会長 1名、副会長 2名、理事（各市郡若干名、特別支援学校 7名、難聴・言語障害教育研究会 1名、情緒障害教育研究会 1名、LD・ADHD等教育研究会 1名）、常任理事 10名、監査 2名、幹事若干名。

会長が必要と認める場合は顧問若干名をおくことができる。

事務局校より庶務、会計等を担当する事務局担当者を若干名おく。

- 第 7 条 会長、副会長、監査は理事会において選出し、総会で承認をうけるものとする。

理事は、三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、各特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、LD・ADHD等教育研究会で選出する。

常任理事は三神、佐城、唐津、伊西、杵武、鹿嬉藤、特別支援学校、難聴・言語障害教育研究会、情緒障害教育研究会、LD・ADHD等教育研究会単位に理事の中から 1名選出する。

幹事及び顧問は会長がこれを委嘱する。

- 第 8 条 会長は本会を代表し、会務を統轄する。

副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

監査は本会の業務並びに会計を監査する。

幹事は会務を処理する。

- 第 9 条 役員の任期は 1 か年とする。ただし、再任を妨げない。

### ( 会 合 )

- 第 10 条 この会の会議は総会及び幹事会、理事会、常任理事会とする。

会議は 2 分の 1 以上を以て成立し、議事は過半数をもって議決する。

- 第 11 条 総会は年 1 回会長がこれを招集し、本会運営に関する下記の事項を決議する。

- 1 会則の変更
- 2 前年度決算並びに業務報告の承認
- 3 新年度事業並びに予算審議
- 4 役員の承認
- 5 その他重要事項

- 第12条 理事会は総会に次ぐ決議機関であり、会長が必要と認めた場合及び理事の2分の1以上の要請があつた場合会長がこれを招集する。  
幹事会は、会の実務運営に関する検討・審議し、理事会に諮るものとする。  
常任理事会は、会長が必要と認めた場合これを招集し、会の運営について審議する。
- 第13条 不測の事態および非常事態等で会員が一堂に参集できない場合には、次の通り行う。  
1 書面による審議の上、書面表決にて決議する。  
2 議案の可決については提出された有効な書面のうち、賛成が過半数の場合に可決とする。

#### (会計)

第14条 この会の経費は、会費、その他をもつてこれにあて、年度初めに納入するものとする。

第15条 この会の会計年度は4月1日より翌3月31日までとする。

(附則) 1 この規約は昭和34年9月19日より実施する。

- 2 会則の一部改正 昭和36年6月7日
- 3 会則の一部改正 昭和38年6月19日
- 4 会則の一部改正 昭和39年6月30日
- 5 会則の一部改正 昭和40年7月1日
- 6 会則の一部改正 昭和41年5月20日
- 7 会則の一部改正 昭和42年5月24日
- 8 会則の一部改正 昭和44年5月22日
- 9 会則の一部改正 昭和49年6月8日
- 10 会則の一部改正 昭和51年5月27日
- 11 会則の一部改正 昭和52年6月8日
- 12 会則の一部改正 昭和54年6月11日
- 13 会則の一部改正 平成13年5月24日
- 14 会則の一部改正 平成14年5月28日
- 15 会則の一部改正 平成17年5月31日
- 16 会則の一部改正 平成19年6月5日
- 17 会則の一部改正 平成20年5月29日
- 18 会則の一部改正 令和4年5月24日
- 19 会則の一部改正 令和8年

#### (附記)

市町村合併に伴う会則の変更については、理事会での決議をもつて対応することとする。

#### (内規)

佐賀県特別支援教育研究会会長は、2年毎に次の順番で持ち回りとする。

- |             |           |          |           |
|-------------|-----------|----------|-----------|
| 1 佐城地区      | 2 特別支援学校  | 3 三神地区   | 4 特別支援学校  |
| 5 唐津地区      | 6 特別支援学校  | 7 伊西地区   | 8 特別支援学校  |
| 9 杵武地区      | 10 特別支援学校 | 11 鹿嬉藤地区 | 12 特別支援学校 |
| 13 附属特別支援学校 |           |          |           |

#### (内規の変更)

佐賀県特別支援教育研究会会長は、平成31年度（西暦2019年度）を基点として、2年毎に次の順番で持ち回りとする。なお、特別支援学校に変動があった場合は、再考するものとする。

- |            |       |             |           |
|------------|-------|-------------|-----------|
| (事務局校)     |       | (事務局校)      |           |
| うれしの特別支援学校 | ⇒伊西地区 | ⇒大和特別支援学校   | ⇒杵武地区     |
| ⇒中原特別支援学校  | ⇒三神地区 | ⇒唐津特別支援学校   | ⇒附属特別支援学校 |
| ⇒伊万里特別支援学校 | ⇒伊西地区 | ⇒うれしの特別支援学校 | ⇒鹿嬉藤地区    |

⇒大和特別支援学校	⇒佐城地区	⇒中原特別支援学校	⇒三神地区
⇒唐津特別支援学校	⇒唐津地区	⇒伊万里特別支援学校	⇒伊西地区
⇒うれしの特別支援学校	⇒杵武地区	⇒大和特別支援学校	⇒三神地区
⇒中原特別支援学校	⇒佐城地区	⇒唐津特別支援学校	⇒附属特別支援学校
⇒伊万里特別支援学校	⇒		

特別支援学校の変動により、佐賀県特別支援教育研究会会長を、令和8年（西暦2026年度）を基点として、2年ごとに次の順番で持ち回りとする。

(事務局校)		(事務局校)	
⇒うれしの特別支援学校	⇒伊西地区	⇒大和特別支援学校	⇒杵武地区
⇒中原特別支援学校	⇒三神地区	⇒唐津特別支援学校	⇒附属特別支援学校
⇒伊万里特別支援学校	⇒伊西地区	⇒うれしの特別支援学校	⇒鹿嬉藤地区
⇒大和特別支援学校	⇒佐城地区	⇒中原特別支援学校	⇒三神地区
		⇒鳥栖特別支援学校	
⇒唐津特別支援学校	⇒唐津地区	⇒伊万里特別支援学校	⇒伊西地区
⇒うれしの特別支援学校	⇒杵武地区	⇒大和特別支援学校	⇒三神地区
⇒中原特別支援学校	⇒佐城地区	⇒唐津特別支援学校	⇒附属特別支援学校
⇒鳥栖特別支援学校	⇒		
⇒伊万里特別支援学校	⇒		

## 入 金 同

令和7年度 佐賀県特別支援教育研究会

一般会計

日付 令和7年8月19日

下記のとおり、入金を確認いたしました。

項目	負担金
----	-----

副会長	事務局長	会計

摘要	令和7年度佐賀県特別支援教育研究会 負担金
----	-----------------------

金額	百	十	万	千	百	十	円
¥	4	3	4	0	1	0	

地区名・学校名	入金額	通帳記入日
伊西地区（中学校7校、小学校15校、小中一貫2校）	46,920	令和7年6月23日
佐大附属特別支援学校（1校）	1,955	令和7年6月24日
伊万里特別支援学校（1校）	1,955	令和7年6月24日
白石町（中学校1校、小学校8校）	17,595	令和7年6月26日
鹿嬉藤地区（中学校7校、小学校16校、小中一貫1校）	46,920	令和7年6月26日
唐津市（中学校12校、小学校22校、小中一貫3校）	72,335	令和7年6月30日
佐賀市（中学校15校、小学校31校、小中一貫3校）	95,795	令和7年6月30日
嬉野特別支援学校（1校）	1,955	令和7年7月3日
武雄市（中学校5校）	9,775	令和7年7月4日
武雄市（小学校11校）	21,505	令和7年7月4日
鳥栖市（中学校4校）	7,820	令和7年7月4日
鳥栖市（小学校8校）	15,640	令和7年7月4日
江北町（中学校1校）	1,955	令和7年7月4日
江北町（小学校1校）	1,955	令和7年7月4日
中原特別支援学校（1校）	1,955	令和7年7月4日
唐津特別支援学校（1校）	1,955	令和7年7月4日
みやき町（中学校3校、小学校4校）	13,685	令和7年7月7日
玄海町（1校）	1,955	令和7年7月7日
神埼市（小学校7校）	13,685	令和7年7月7日
大和特別支援学校（1校）	1,955	令和7年7月9日
基山町（中学校1校、小学校2校）	5,865	令和7年7月10日
上峰町（中学校1校、小学校1校）	3,910	令和7年7月10日
吉野ヶ里町（中学校2校、小学校2校）	7,820	令和7年7月10日
小城市（中学校3校、小学校7校、小中一貫1校）	21,505	令和7年7月10日
多久市（小中一貫3校）	5,865	令和7年7月10日
金立特別支援学校（1校）	1,955	令和7年7月10日
神埼市（中学校3校）	5,865	令和7年7月15日
大町町（小中一貫1校）	1,955	令和7年7月15日
合計	434,010	

店番 616

口座番号 1591138

整理番号 No.1

## 入 金 同

令和7年度 佐賀県特別支援教育研究会

一般会計

日付 令和7年 月 日

下記のとおり、入金を確認いたしました。

副会長	事務局長	会計

項目	
----	--

摘要	
----	--

金額	百	十	万	千	百	十	円
----	---	---	---	---	---	---	---

通帳記入日 令和7年 月 日

## 佐賀県特別支援教育研究会 令和8年度役員報告について

平素より、本研究会の活動に際しましてはご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。  
令和8年度役員報告につきましてご連絡とお願いをいたします。

役員報告につきましては、昨年度までは、各地区、各研究会よりメール（FAX）にてご報告をいたしましたが、今年度から、foams での報告とさせていただきます。下記の QR コードを読み込んでいただき、必要事項をご入力ください。

業務ご多忙の中大変恐縮ですが、4月15日（水）までにご回答いただきますようお願いいたします。

ご不明点等ございましたら、事務局までご連絡ください。



締切 令和8年4月15日（水）

### 〔問い合わせ先〕

佐賀県特別支援教育研究会事務局 佐賀県立中原特別支援学校内  
事務局長 梶原 ミサ  
会計担当 河野 麻美  
〒849-0101 三養基郡みやき町大字原古賀 7262-1  
TEL 0942-94-3575 FAX 0942-81-8002